

令和2年度 活動の歩み

揖斐郡

PTA連合会

1 活動の状況

| | |
|------|--|
| 開催した | <ul style="list-style-type: none"> ・第1回評議員会のみ紙面表決 ・その他の企画委員会、及び第2回評議員会は実施 |
| 中止 | <ul style="list-style-type: none"> ・揖斐郡PTA連合会研修会9/5→中止 ※実践報告(小中各1校)・表彰は、3月の評議員会で実施。 ・母親委員会第1回委員会7/28→中止 ※その他は別紙参照 ・母親委員会研修会→在宅活動にて実施。 |

総会・研修会・役員会・評議員会・家庭教育学級など開催できたこと、できなかったことを区分けしてご記入ください。

2 活動内容

| | |
|---|---|
| <p>・コロナ禍のため、単Pの活動の多くが中止となった。特に予算収入源である資源回収も実施できない学校が多くあった。そのため活動資金不足を補うため、郡P本部より活動補助金として各校に補助金を配付した。</p> <p>・揖斐郡PTA連合会のあり方を見直すために会議や活動の精選を昨年度行い、まず手始めとして今年度より、年12回あった会議(企画委員会6回、評議員会6回)を年6回(企画委員会4回、評議員会2回)にした。また、郡と各町・単Pとの連携をスムーズにいくよう各町事務局(担当教頭)に企画委員会に参加してもらったり、各町の開催時期を調整してもらったりした。</p> | <p>本年度活動できたことから、1・2例ご紹介ください。(郡市Pとして、単Pでの活動いづれでも結構です。)</p> |
|---|---|

3 本年度の特徴

| | |
|--|--|
| <p>・コロナ禍のため、どの学校も活動中止や縮小となり、ほとんどできていないのが実情である。そんな時期だからこそそれぞれの活動の意義やそのあり方を考え直すことが求められているように考える。上記にも記載したとおり、本郡では会議のあり方について改革をした。ほぼ1年が経過した中で特に不都合が生じたわけでもなく、9月の研修会を除けばほぼ計画通り実施することができた。また、このような現状で一番懸念されることは子どもたちの様子であり、親子関係であると考え。各校でこれらのことに対して、PTAとして何からのアプローチをかけ、ヒントとなるようなことが提案できたりすることがPTAとして大切にしたいことだと考える。まずは情報収集から始め、資料提供による啓発であったり、諸機関の紹介による相談活動の推進であったりが学校や地域と連携してできるとよい。</p> | <p>本年度の状況(新型コロナウイルス感染防止対応)への対応として取り組んだこと(例年と変更したことを含む)があればご紹介ください。</p> |
|--|--|

4 課題

| | |
|---|--|
| <p>・PTA活動の意義やそのあり方について、どの学校でも苦慮している。そのため会員募集が困難になったり、実際に脱会や入会拒否さらには学校としてのあり方まで問われているところもあるようである。会費を納めた上に会議等への参加要請、校内での役員分担など負担が重く受け取られているようである。また、活動の多くが、県PTA連合会からの依頼を受けてのものが中心で、さらに負担感が増しているようである。こうした現状から、単Pとして脱退してはという意見も出始めている学校もある。会員の大多数が、「子どものために」という考えで入会し、何らかの形で子どもたちに還元できればという思いで活動に参加していただいているが、現実には前者のようなとらえ方の方が強い。現代の風潮として人とのかわりを持ってそれを煩わしてとらえている傾向があるが、今一度原点に戻って考え直す時期に来ているように思われる。</p> | <p>本年度のことだけに限らず、PTA活動に関わることであれば、どんなことでも結構です。</p> |
|---|--|

本年度は、どの郡市も通常の活動予定を展開できていないことと思います。その中で、できたこと・変更したこと・中止したことなどを交流したいと思いますので、簡潔にご記入ください。よろしく願いいたします。